

(西暦) 2026 年 7 月 27 日

「末梢動脈疾患に対する Viabahn スtent グラフト留置後の再発病変における治療成績と関連因子の探索的評価」に対するご協力をお願い

研究責任者 柳内 隆 (洛和会音羽病院心臓内科)
〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町 2
TEL 075-593-4111

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、心臓内科 柳内 隆までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

2016 年 2 月 1 日より 2025 年 6 月 30 日までの間に、心臓内科に Viabahn スtent グラフト留置後の再狭窄または再閉塞をきたし、再介入を受けた患者さんを対象としています。

2 研究課題名

末梢動脈疾患に対する Viabahn スtent グラフト留置後の再発病変における治療成績と関連因子の探索的評価

3 本研究の意義、目的、方法

Viabahn スtent グラフト留置後に再狭窄または再閉塞をきたした患者を対象に、再々治療回避率（1 年）に影響を与える因子（患者背景因子、初回治療時および再発時の解剖学的因子、初回治療および再発治療時の手技的因子）を明らかにすることを目的とする。

調査・評価項目を、研究に用いる情報として収集する。試料は取り扱わない。調査は、初回 Viabahn 留置時の情報、再発・再介入時の情報、および再介入後の追跡情報からなる。研究に用いられる情報は電子媒体で収集され、匿名化された状態で取り扱われる。各施設で収集した研究に用いられる情報はデータマネージャーにより統合・管理される。

4 研究実施機関

洛和会音羽病院 心臓内科

5 研究責任者

洛和会音羽病院心臓内科 医長 柳内 隆

6 協力をお願いする内容

本調査におきましては、対象となる患者さんの基礎疾患、各種検査結果、診療録、血液検査データ、画像データの記録を参考に調査致します。従って、この研究にご参加いただく患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。

7 プライバシーの保護について

収集した情報を取り扱う際、各施設において個人が特定できないようにコードを付与します（匿名化と言います）。コードと患者さんを紐づける対応表は各施設で厳重に管理し、外部に知られることはないように致します。本研究は多機関共同研究であり、各施設で収集され匿名化されたデータは電子媒体で、データセンター・統計解析担当部門である大阪大学へ送付されます。

尚、本研究では試料は扱いません。

8 相談窓口

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

連絡先： 柳内 隆（洛和会音羽病院 心臓内科）
〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2
TEL 075-593-4111

9 研究参加の拒否する権利

研究への参加を希望されない場合は相談窓口にご連絡ください。